

佐藤会長コメント

令和3年6月11日

本日は、山形県立米沢栄養大学との連携協定を締結することができ、米沢栄養大学関係者の皆様の御理解と御協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

農林水産省では、2020年代の食品産業を見据え、新たに「**食品産業戦略**」を策定しております。

この戦略で強調されているのが、「需要を引き出す新たな価値の創造」であります。具体的には、『日本経済を活性化するためには、今までなかったような商品・サービスが提供され、新たな需要を創り出すことである。』と説明されております。

折しも、新型コロナウイルス感染症の拡大で、食品産業を含めて経済活動は大きな影響を被っている状況です。「ウィズ・コロナ」、「ポスト・コロナ」という考え方が定着してきている中において、食品産業は、時代のニーズに即した製品開発が求められております。消費者の健康志向の高まりや、これから増大する高齢者が求める食品など、新たな市場拡大が予想されます。このため、私たち食品産業は、科学的な研究成果を取り入れ、消費者に分かりやすく説明していくことが必要になると考えております。

この度、本協議会が、これまで以上に新しい技術や研究の成果を積極的に取り入れた食品の製造を加速していくために、研究シーズを数多く有する米沢栄養大学と連携協定を締結することは、この上ない強みとなると確信しております。

このため、当協議会としても、会員企業が米沢栄養大学との共同研究や委託研究を実施した場合、奨励金を提供するなどの支援策を講じることとしております。

また、山形県の食品産業は、県内において「事業所数」及び「従業員数」で全産業分類の中でトップを占める地域に根差した基幹的な産業でもあります。この食品産業が元気になることにより、地域の経済の活性化に寄与できるのではないかと考えておりますので、今後ともご支援の程よろしく申し上げます。